

**反畑 誠一（たんばた・せいいち）先生**

音楽評論家 立命館大学客員教授

立命館大学産業社会学部客員教授。

本講座コーディネーター。

音楽コラム「ヒットの周辺」(京都新聞など26紙掲載)など多数執筆中。

F Mラジオ「反畑誠一の音楽ミュージアム」(全国コミュニティFM56局ネット)のパーソナリティ、テレビ情報番組「うたナビ21」(京都放送など13局ネット)のナビゲーターを務める。

30余年間にわたり、日本人アーティストのアジア公演に同行取材を続ける傍ら、PROMIC調査団員としてアジア各国の音楽産業事情を現地視察するなど、アジアの音楽ソフト市場の調査・分析の第一人者。



その他兼任 (社)全国コンサートツアー事業者協会理事・文化庁芸術選奨推薦委員  
・日本レコード大賞常任実行委員

**〈開講式概要〉**

後期は、本講座コーディネーター反畑氏のオリエンテーションによって開講した。

反畑氏自身の活動内容や、本講座の概要を紹介し、寄附をいただいている5団体について詳細に説明。その中で、音楽業界の仕組み、著作権についても簡単に解説した。さらに、産業界と教育界が協力する「産学共同方式」の学習について取り上げ、学んだことが将来社会で役立つと感じられる実践的知識を習得することの重要性を説き、本講座の目標とした。

また、前期の講座の概要や、レポート課題の成果について振り返り、そこから自分のテーマを見つけることが重要であることを説いた。さらに、双方向授業の実現のためにコミュニケーションペーパーを利用していることを説明。本学担当教員の瓜生先生が、コミュニケーションペーパーの有効な活用方法について話した。

後半は、後期の開講にあたり、反畑先生がエンタテインメント産業界の概況を最新のランキングデータ等を用いて解説。

最後に、はじめに学習テーマがあるべきだという方針のもとで招いた豪華な講師陣を紹介。業績や人柄などを、エピソードを交えながら話し、貴重な講義であることを伝えた。その中で、自分の課題を見つけより進んだ学習を進めるよう、受講生を激励した。

## 〈受講生の感想〉

この講義はエンタテインメント業界のリーダーとして活躍しておられる先生方が来られる貴重な機会であるので、エンタテインメント産業の裏側や現在エンタテインメント産業が抱えている課題、また複雑な著作権の問題など多くのことを学びとっていけたらいいと考える。この講義で学んでいくことが将来に役立てていけるようにしっかりと学んでいきたいと思う。

立命館大学・法学部・5回生

他の学校の授業を取れて単位がもらえる上に、第一線で活躍されている方々の生き生きとした講義を受けることができるなんて恵まれているなぁと実感しました。せっかく受けるのだから吸収して、自分の中で消化していきたいと考えました。

京都産業大学・経営学部・3回生

普段、私達はエンタテインメントの受け手として関わっているが、この講座ではエンタテインメントの送り手の人々の話を聞けるので、多角的にエンタテインメントを見つめることができるようになるのではないかと期待しています。

立命館大学・産業社会学部・1回生

前期エンタテインメント産業論のおかげで自分の進路への迷いがなくなりました。これから就活が始まりますが、後期の講座内容を活かしつつ、最後まであきらめずに頑張ってみようと思っています。講師の方の話をただ聞くだけでなく、毎回の講座に自分なりの学習テーマを設けて取り組んでいきたいです。

立命館大学・文学部・3回生

今日、先生のお話の中にもあったように、将来役に立つと実感できる学習はほんとに大切だと思うし、「将来役に立つと実感できる」ということは案外難しいことだと思う。そんな中このような授業を受けることができるということは大変良いことだなと感じる。

立命館大学・産業社会学部・1回生

寄附講座に関わっている5団体に、いま自分たちが主に目にしているエンタテインメントの中のかなりの部分が含まれていることを知りました。どんな分野にも“権利”というのは発生するので、やはり“著作権”の勉強をもっとやらなければと感じました。

立命館大学・産業社会学部・1回生

身近な音楽を“ビジネス”として考えることが新鮮でした。有名な先生方からのお話は、視野が広がるきっかけになると考え、講義後、復習するなど“エンタテインメント産業”を多面的に学びたいと思います。

立命館大学・産業社会学部・4回生

私も前々から、机の前で理論ばかり学ぶのではなく、実践的なこと、自分の将来に直結するようなことを学びたいと思っていたので、第一線で活躍されている方々のお話を聞くことができると思うと期待でいっぱいです。

立命館大学・産業社会学部・2回生

この講義はちゃんとなんらかの形で(コミュペや質問など)相互に先生と私たちがコミュニケーションが出来るので、先生の話の内容もさることながら、そういうところも大好きです。反畑先生の話もいつも新鮮で、いろんな角度からの話や音楽へのアプローチが知れて楽しいです。

立命館大学・産業社会学部・3回生

私は映像学部ですが、ビジネス関係のことは共通する部分も多々ありますし、元々は音楽系の仕事をしたいと考えていたのでかなり参考にさせてもらっています。エンタテインメント産業論に変わってから少しずつ映画や広告系の方も来られるようになったので、そこも非常に楽しみです。できれば毎年受講したいです。

立命館大学・映像学部・2回生